

対象校No. 216

注4

学校コード F110210101739

注3

設置年度 令和 8年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

届出

注2

前橋工科大学大学院

工学研究科

博士前期課程

環境・生命工学専攻

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

公立大学法人前橋工科大学  
令和8年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総務課

職名・氏名 シュニン カケガワ カズノリ  
主任・掛川 和徳

電話番号 027-265-7351 (内線: 103)

(夜間) 027-265-7351 (内線: 103)

e-mail jimmu@maebashi-it.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(令和◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・「〇〇短期大学 △△学科」
- ・「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)」
- ・「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

4 対象校No.については、「【別紙】令和8年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、

該当番号を記載してください。

# 目次

## 工学研究科

＜環境・生命工学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. 既設大学等の状況	18
5. 教育研究実施組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	31

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

公立大学法人前橋工科大学

## (2) 大学名

前橋工科大学大学院

## (3) 調査対象大学等の位置

〒371-0816  
群馬県前橋市上佐鳥町460番地1

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ニシヅノ ヒロミ) 西菌 大実 (令和7年4月)		
学長	(ナカムラ ケンスケ) 中村 建介 (令和7年4月)		
研究科長	(ホンダ イチロウ) 本多 一郎 (令和7年4月)		
学科長等			

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

( )書きで記入してください。

(例) 令和7年度に報告する内容 → (7)

令和8年度に報告する内容 → (8)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
  - 様式は、令和3年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和8年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
  - 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
工学研究科 環境・生命工学専攻 修士（工学）	工学関係	2年	50人	2年次 0人 3年次 人 4年次 人	100人	-	【基礎となる学部】工学部

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	50人 ( ) [ ]	-	0.74倍	-	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	78 ( ) [ ]	春季入学以外の入学時期と入学定員内訳			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	78 ( ) [ ]				
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	78 ( ) [ ]				
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	74 ( ) [ ]				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.48				

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
  - ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、( )書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - 転入学生は記入しないでください。
  - [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期は「-」を記入してください。
  - 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
  - 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和9年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
  - 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - 「(5) ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) 一③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度 令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	74	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	74	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ [ ]内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和3年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	- 人	- 人	
令和8年度	74 人	0 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	- 人	- 人	
			令和8年度	- 人	- 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和8年度】

$$\frac{\text{令和8年度の退学者数(a)}}{\text{令和8年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{74} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<工学研究科 環境・生命工学専攻>

### (1) -① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

(環境・生命工学専攻 社会基盤・環境コース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置						基幹教員以外 (助手を除く)	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	学術英語特論	1-2		2				1					
	数学特論A	1-2		2			1						
	数学特論B	1-2		2		1							
	数学特論C	1-2		2			1						
	物理学特論	1-2		2		1							
	化学特論	1-2		2			1						
小計(6科目)		—	0	12	0	2	3	1	0	0	0	0	
研究科専攻共通科目	データ解析特論	1-2		2		1							
	知財特論	1-2		2								1	
	プレゼンテーション演習	1-2		2			1						
	グローバル・イノベーション	1-2		2		1							
	特別研究Ⅰ	1	2			23	25	4					
	特別研究Ⅱ	2	8			23	25	4					
小計(6科目)		—	10	8	0	48	51	8	0	0	1		
複数コース開設模断科目	都市デザイン特論	1-2		2				1					
	建築生産特論	1-2		2			1						
	建築マネジメント演習	1-2		2			1						
	システムデザイン特論	1-2		2		1							
	都市・環境デザイン演習	1-2		2			1						
	労働安全衛生特論	1-2		2				1					
小計(6科目)		—	0	12	0	1	3	2	0	0	0	0	
コース開設専門科目	コンクリート工学特論	1-2		2			1						
	セメント化学特論	1-2		2		1							
	材料力学特論	1-2		2		1							
	鋼構造学特論	1-2		2			1						
	都市計画特論	1-2		2		1							
	水環境工学特論	1-2		2		1							
	建設情報処理特論	1-2		2			1						
	河川環境工学特論	1-2		2			1						
	防災地盤工学特論	1-2		2			1						
小計(9科目)		—	0	18	0	4	5	0	0	0	0	0	
合計(27科目)		—	10	50	0	55	62	11	0	0	1		

卒業要件及び履修方法

- ・必修科目10単位及び選択科目20単位以上の合計30単位以上を修得すること。
- この場合において、工学研究科長が認める他コースの科目(コース開設専門科目を他コース履修した場合)6単位までを選択科目の単位に含めることができる。
- ・修士論文を提出し、論文審査に合格すること。

#### 【令和8年度】

(環境・生命工学専攻 社会基盤・環境コース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置						基幹教員以外 (助手を除く)	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	学術英語特論	1-2		2				1					
	数学特論A	1-2		2			1						
	数学特論B	1-2		2		1							
	数学特論C	1-2		2			1						
	物理学特論	1-2		2		1							
	化学特論	1-2		2			1						
小計(6科目)		—	0	12	0	2	4	0	0	0	0	0	
研究科専攻共通科目	データ解析特論	1-2		2		1							
	知財特論	1-2		2								1	
	プレゼンテーション演習	1-2		2			1						
	グローバル・イノベーション	1-2		2		1							
	特別研究Ⅰ	1	2			25	24	3					
	特別研究Ⅱ	2	8			25	24	3					
小計(6科目)		—	10	8	0	53	48	6	0	0	1		
複数コース開設模断科目	都市デザイン特論	1-2		2				1					
	建築生産特論	1-2		2			1						
	建築マネジメント演習	1-2		2			1						
	システムデザイン特論	1-2		2		1							
	都市・環境デザイン演習	1-2		2			1						
	労働安全衛生特論	1-2		2				1					
小計(6科目)		—	0	12	0	1	3	2	0	0	0	0	
コース開設専門科目	コンクリート工学特論	1-2		2			1						
	セメント化学特論	1-2		2		1							
	材料力学特論	1-2		2		1							
	鋼構造学特論	1-2		2			1						
	都市計画特論	1-2		2		1							
	水環境工学特論	1-2		2		1							
	建設情報処理特論	1-2		2			1						
	河川環境工学特論	1-2		2			1						
	防災地盤工学特論	1-2		2			1						
小計(9科目)		—	0	18	0	4	5	0	0	0	0	0	
合計(27科目)		—	10	50	0	60	60	8	0	0	1		

卒業要件及び履修方法

- ・必修科目10単位及び選択科目20単位以上の合計30単位以上を修得すること。
- この場合において、工学研究科長が認める他コースの科目(コース開設専門科目を他コース履修した場合)6単位までを選択科目の単位に含めることができる。
- ・修士論文を提出し、論文審査に合格すること。

【認可時又は届出時】

(環境・生命工学専攻 建築・デザインコース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置						※ （外の教員以外 の助手を除く）		
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手				
教養科目	学術英語特論	1-2		2				1						
	数学特論A	1-2		2			1							
	数学特論B	1-2		2		1								
	数学特論C	1-2		2			1							
	物理学特論	1-2		2		1								
	化学特論	1-2		2			1							
	小計（6科目）	—	0	12	0	2	3	1	0	0	0			
専門科目	データ解析特論	1-2		2		1								
	知財特論	1-2		2								1		
	プレゼンテーション演習	1-2		2			1							
	グローバル・イノベーション	1-2		2		1								
	特別研究Ⅰ	1	2			23	25	4						
	特別研究Ⅱ	2	8			23	25	4						
		小計（6科目）	—	10	8	0	48	51	8	0	0	0	1	
	複数コース開設横断科目	都市デザイン特論	1-2		2				1					
		建築生産特論	1-2		2			1						
		建築マネジメント演習	1-2		2			1						
システムデザイン特論		1-2		2		1								
都市・環境デザイン演習		1-2		2			1							
情報通信システム特論		1-2		2			1							
労働安全衛生特論		1-2		2				1						
	小計（7科目）	—	0	14	0	1	4	2	0	0	0			
コース開設専門科目	建築史特論	1-2		2			1							
	建築意匠特論	1-2		2		1								
	パブリックアーキテクチャー特論	1-2		2		1	1							
	地域環境計画特論	1-2		2			1							
	建築設計演習	1-2		2		1								
	パブリックアーキテクチャー設計演習	1-2		2			1							
	建築設備設計演習	1-2		2								1		
	建築熱・空気環境計画特論	1-2		2		1								
	環境建築学特論	1-2		2								1		
	建築音環境工学特論	1-2		2			1							
	建築鉄筋2D/3D構造設計演習	1-2		2		1								
	建築耐震工学演習	1-2		2			1							

【令和8年度】

(環境・生命工学専攻 建築・デザインコース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置						※ （外の教員以外 の助手を除く）		
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手				
教養科目	学術英語特論	1-2		2							1			
	数学特論A	1-2		2				1						
	数学特論B	1-2		2		1								
	数学特論C	1-2		2			1							
	物理学特論	1-2		2		1								
	化学特論	1-2		2			1							
	小計（6科目）	—	0	12	0	2	4	0	0	0	0	0		
専門科目	データ解析特論	1-2		2		1								
	知財特論	1-2		2									1	
	プレゼンテーション演習	1-2		2			1							
	グローバル・イノベーション	1-2		2		1								
	特別研究Ⅰ	1	2			25	24	3						
	特別研究Ⅱ	2	8			25	24	3						
		小計（6科目）	—	10	8	0	53	48	6	0	0	0	1	
	複数コース開設横断科目	都市デザイン特論	1-2		2				1					
		建築生産特論	1-2		2			1						
		建築マネジメント演習	1-2		2			1						
システムデザイン特論		1-2		2		1								
都市・環境デザイン演習		1-2		2			1							
情報通信システム特論		1-2		2			1							
労働安全衛生特論		1-2		2				1						
	小計（7科目）	—	0	14	0	1	4	2	0	0	0			
コース開設専門科目	建築史特論	1-2		2			1							
	建築意匠特論	1-2		2		1								
	パブリックアーキテクチャー特論	1-2		2		1	1							
	地域環境計画特論	1-2		2			1							
	建築設計演習	1-2		2		1								
	パブリックアーキテクチャー設計演習	1-2		2			1							
	建築設備設計演習	1-2		2								1		
	建築熱・空気環境計画特論	1-2		2		1								
	環境建築学特論	1-2		2								1		
	建築音環境工学特論	1-2		2			1							
	建築鉄筋2D/3D構造設計演習	1-2		2		1								
	建築耐震工学演習	1-2		2			1							

【認可時又は届出時】

(環境・生命工学専攻 建築・デザインコース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置						基幹教員以外 (助手を除く)	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	建築地震工学特論	1-2	2				1						
	建築合成構造特論	1-2	2			1							
	建築構造解析演習	1-2	2			1							
	荷重・安全論演習	1-2	2			1							
	インターンシップA	1-2	4			1							
	インターンシップB	1-2	4			1							
	インターンシップC	1-2	4			1							
	インターンシップD	1-2	2			1							
	建築構造計画特論	1-2	2										1
	情報メディア表現特論	1-2	2				1						
	クラフトデザイン特論	1-2	2					1					
	プロダクトデザイン特論	1-2	2			1							
	プロダクトデザイン演習	1-2	2			1			1				
	情報メディアデザイン演習	1-2	2				2						
	デザイン心理学特論	1-2	2						1				
小計(27科目)		—	0	50	0	11	7	3	0	0		3	
合計(46科目)		—	10	84	0	65	68	14	0	0		4	

卒業要件及び履修方法

・必修科目10単位及び選択科目20単位以上の合計30単位以上を修得すること。  
 この場合において、工学研究科長が認める他コースの科目(コース開設専門科目を他コース履修した場合)6単位までを選択科目の単位に含めることができる。  
 ・修士論文を提出し、論文審査に合格すること。この場合において修士作品をもって修士論文に代えることができる。

【令和8年度】

(環境・生命工学専攻 建築・デザインコース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置						基幹教員以外 (助手を除く)	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	建築地震工学特論	1-2	2				1						
	建築合成構造特論	1-2	2			1							
	建築構造解析演習	1-2	2			1							
	荷重・安全論演習	1-2	2			1							
	インターンシップA	1-2	4			1							
	インターンシップB	1-2	4			1							
	インターンシップC	1-2	4			1							
	インターンシップD	1-2	2			1							
	建築構造計画特論	1-2	2										1
	情報メディア表現特論(廃止)	1-2	2										
	クラフトデザイン特論	1-2	2						1				
	プロダクトデザイン特論	1-2	2			1							
	プロダクトデザイン演習	1-2	2			1			1				
	情報メディアデザイン演習	1-2	2				2						
	デザイン心理学特論	1-2	2							1			
小計(27科目)		—	0	48	0	11	8	1	0	0		3	
合計(46科目)		—	10	82	0	67	64	9	0	0		4	

卒業要件及び履修方法

・必修科目10単位及び選択科目20単位以上の合計30単位以上を修得すること。  
**この場合において、工学研究科長が認める他コースの科目(コース開設専門科目を他コース履修した場合)6単位までを選択科目の単位に含めることができる。**  
 ・修士論文を提出し、論文審査に合格すること。この場合において修士作品をもって修士論文に代えることができる。

【認可時又は届出時】

(環境・生命工学専攻 数理情報生命科学コース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置						基幹教員以外 (助手を除く)	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	学術英語特論	1-2		2				1					
	数学特論A	1-2		2			1						
	数学特論B	1-2		2		1							
	数学特論C	1-2		2			1						
	物理学特論	1-2		2		1							
	化学特論	1-2		2			1						
	小計(6科目)	—	0	12	0	2	3	1	0	0	0	0	
研究科教養共通科目	データ解析特論	1-2		2		1							
	知財特論	1-2		2								1	
	プレゼンテーション演習	1-2		2			1						
	グローバル・イノベーション	1-2		2		1							
	特別研究Ⅰ	1	2			23	25	4					
	特別研究Ⅱ	2	8			23	25	4					
	小計(6科目)	—	10	8	0	48	51	8	0	0	0	1	
複数コース開設横断科目	建築生産特論	1-2		2			1						
	建築マネジメント演習	1-2		2			1						
	システムデザイン特論	1-2		2		1							
	データサイエンス特論	1-2		2					1				
	ネットワークセキュリティ特論	1-2		2					1				
	情報通信システム特論	1-2		2			1						
	感性と情動の人間構造学特論	1-2		2		1							
	神経科学特論	1-2		2			1						
	小計(8科目)	—	0	16	0	2	4	0	2	0	0	0	
コース開設専門科目	計算量理論特論	1-2		2			1						
	コンピュータ科学特論	1-2		2			1						
	アルゴリズム特論	1-2		2		1							
	プロトミクス特論	1-2		2		1							
	バイオインフォマティクス特論	1-2		2		1							
	システム生物学特論	1-2		2			1						
	小計(7科目)	—	0	14	0	3	4	0	0	0	0	0	
	合計(27科目)	—	10	50	0	55	62	9	2	0	1		

卒業要件及び履修方法

- ・必修科目10単位及び選択科目20単位以上の合計30単位以上を修得すること。
- ・この場合において、工学研究科長が認める他コースの科目(コース開設専門科目を他コース履修した場合)6単位までを選択科目の単位に含めることができる。
- ・修士論文を提出し、論文審査に合格すること。

【令和8年度】

(環境・生命工学専攻 数理情報生命科学コース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置						基幹教員以外 (助手を除く)	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	学術英語特論	1-2		2				1					
	数学特論A	1-2		2			1						
	数学特論B	1-2		2		1							
	数学特論C	1-2		2			1						
	物理学特論	1-2		2		1							
	化学特論	1-2		2			1						
	小計(6科目)	—	0	12	0	2	4	0	0	0	0	0	
研究科教養共通科目	データ解析特論	1-2		2		1							
	知財特論	1-2		2								1	
	プレゼンテーション演習	1-2		2			1						
	グローバル・イノベーション	1-2		2		1							
	特別研究Ⅰ	1	2			25	24	3					
	特別研究Ⅱ	2	8			25	24	3					
	小計(6科目)	—	10	8	0	53	48	6	0	0	0	1	
複数コース開設横断科目	建築生産特論	1-2		2			1						
	建築マネジメント演習	1-2		2			1						
	システムデザイン特論	1-2		2		1							
	データサイエンス特論	1-2		2					1				
	ネットワークセキュリティ特論	1-2		2					1				
	情報通信システム特論	1-2		2			1						
	人間機械連携学特論	1-2		2		1							
	神経科学特論	1-2		2			1						
	小計(8科目)	—	0	16	0	2	4	0	2	0	0	0	
コース開設専門科目	計算量理論特論	1-2		2			1						
	コンピュータ科学特論	1-2		2			1						
	アルゴリズム特論	1-2		2		1							
	プロトミクス特論	1-2		2		1							
	バイオインフォマティクス特論	1-2		2		1							
	システム生物学特論	1-2		2			1						
	小計(7科目)	—	0	14	0	4	3	0	0	0	0	0	
	合計(27科目)	—	10	50	0	61	59	6	2	0	1		

卒業要件及び履修方法

- ・必修科目10単位及び選択科目20単位以上の合計30単位以上を修得すること。
- ・この場合において、工学研究科長が認める他コースの科目(コース開設専門科目を他コース履修した場合)6単位までを選択科目の単位に含めることができる。
- ・修士論文を提出し、論文審査に合格すること。

【認可時又は届出時】

(環境・生命工学専攻 生体・情報・システム工学コース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置						基幹教員以外 (助手を除く)		
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手				
教養科目	学術英語特論	1-2		2				1						
	数学特論A	1-2		2			1							
	数学特論B	1-2		2		1								
	数学特論C	1-2		2			1							
	物理学特論	1-2		2		1								
	化学特論	1-2		2			1							
	小計(6科目)	—	0	12	0	2	3	1	0	0	0	0		
研究科専攻共通科目	データ解析特論	1-2		2		1								
	知財特論	1-2		2								1		
	プレゼンテーション演習	1-2		2			1							
	グローバル・イノベーション	1-2		2		1								
	特別研究Ⅰ	1	2			23	25	4						
	特別研究Ⅱ	2	8			23	25	4						
	小計(6科目)	—	10	8	0	48	51	8	0	0	0	1		
専攻科目	建築生産特論	1-2		2			1							
	建築マネジメント演習	1-2		2			1							
	システムデザイン特論	1-2		2		1								
	データサイエンス特論	1-2		2					1					
	ネットワークセキュリティ特論	1-2		2					1					
	感性と情動の人間構造学特論	1-2		2		1								
	神経科学特論	1-2		2			1							
		小計(7科目)	—	0	14	0	2	3	0	2	0	0	0	
	コース開設専攻科目	脳情報処理学特論	1-2		2			1						
		光診断学特論	1-2		2		1							
生体計測工学特論		1-2		2		1								
生体信号処理特論		1-2		2		1								
生体制御システム特論		1-2		2			1							
電磁波工学特論		1-2		2				1						
ロボティクス制御特論		1-2		2					1					
リモートセンシング特論		1-2		2			1							
	小計(8科目)	—	0	16	0	3	3	1	1	0	0	0		
	合計(27科目)	—	10	50	0	55	60	10	3	0	1			

卒業要件及び履修方法

・必修科目10単位及び選択科目20単位以上の合計30単位以上を修得すること。  
 この場合において、工学研究科長が認める他コースの科目(コース開設専攻科目を他コース履修した場合)6単位までを選択科目の単位に含めることができる。  
 ・修士論文を提出し、論文審査に合格すること。

【令和8年度】

(環境・生命工学専攻 生体・情報・システム工学コース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置						基幹教員以外 (助手を除く)		
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手				
教養科目	学術英語特論	1-2		2				1						
	数学特論A	1-2		2				1						
	数学特論B	1-2		2		1								
	数学特論C	1-2		2			1							
	物理学特論	1-2		2		1								
	化学特論	1-2		2			1							
	小計(6科目)	—	0	12	0	2	4	0	0	0	0	0		
研究科専攻共通科目	データ解析特論	1-2		2		1								
	知財特論	1-2		2								1		
	プレゼンテーション演習	1-2		2			1							
	グローバル・イノベーション	1-2		2		1								
	特別研究Ⅰ	1	2			25	24	3						
	特別研究Ⅱ	2	8			25	24	3						
	小計(6科目)	—	10	8	0	53	48	6	0	0	0	1		
専攻科目	建築生産特論	1-2		2			1							
	建築マネジメント演習	1-2		2			1							
	システムデザイン特論	1-2		2		1								
	データサイエンス特論	1-2		2					1					
	ネットワークセキュリティ特論	1-2		2					1					
	感性と情動の人間構造学特論	1-2		2		1								
	神経科学特論	1-2		2			1							
		小計(7科目)	—	0	14	0	2	3	0	2	0	0	0	
	コース開設専攻科目	脳情報処理学特論	1-2		2			1						
		光診断学特論	1-2		2		1							
生体計測工学特論		1-2		2		1								
生体信号処理特論		1-2		2		1								
生体制御システム特論		1-2		2			1							
電磁波工学特論		1-2		2				1						
ロボティクス制御特論		1-2		2					1					
コンピュータビジョン特論		1-2		2					1					
	小計(8科目)	—	0	16	0	3	3	1	1	0	0	0		
	合計(27科目)	—	10	50	0	60	58	7	3	0	1			

卒業要件及び履修方法

・必修科目10単位及び選択科目20単位以上の合計30単位以上を修得すること。  
**この場合において、工学研究科長が認める他コースの科目(コース開設専攻科目を他コース履修した場合)6単位までを選択科目の単位に含めることができる。**  
 ・修士論文を提出し、論文審査に合格すること。

【認可時又は届出時】

(環境・生命工学専攻 バイオテクノロジーコース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置						基幹教員以外の教員(助手を除く)	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	学術英語特論	1-2		2				1					
	数学特論A	1-2		2			1						
	数学特論B	1-2		2		1							
	数学特論C	1-2		2			1						
	物理学特論	1-2		2		1							
	化学特論	1-2		2			1						
小計(6科目)		—	0	12	0	2	3	1	0	0	0	0	
研究科専攻共通科目	データ解析特論	1-2		2		1							
	知財特論	1-2		2								1	
	プレゼンテーション演習	1-2		2			1						
	グローバル・イノベーション	1-2		2		1							
	特別研究Ⅰ	1	2			23	25	4					
	特別研究Ⅱ	2	8			23	25	4					
小計(6科目)		—	10	8	0	48	51	8	0	0	0	1	
複数コース開設横断科目	建築生産特論	1-2		2			1						
	建築マネジメント演習	1-2		2			1						
	システムデザイン特論	1-2		2		1							
	感性と情動の人間構造学特論	1-2		2		1							
	神経科学特論	1-2		2			1						
	小計(6科目)		—	0	10	0	2	3	0	0	0	0	0
専門科目	分子生物学特論	1-2		2		1							
	組織工学特論	1-2		2			1						
	微生物学特論	1-2		2			1						
	植物生理学特論	1-2		2			1						
	生体分析化学特論	1-2		2		1							
	ゲノム生物学特論	1-2		2		1							
	植物代謝工学特論	1-2		2		1							
	応用微生物学特論	1-2		2		1							
	食品工学特論	1-2		2		1							
	食品生理機能学特論	1-2		2		1							
	生物工学特論Ⅰ	1-2	2									8	
	生物工学特論Ⅱ	1-2	2									8	
	生物工学特別演習Ⅰ	1	1			6	3						
	生物工学特別演習Ⅱ	2	1			6	3						
	小計(9科目)		—	6	20	0	19	9	0	0	0	0	16
合計(27科目)		—	16	50	0	71	66	9	0	0	0	17	

卒業要件及び履修方法

- ・必修科目16単位及び選択科目24単位以上の合計30単位以上を修得すること。この場合において、工学研究科長が認める他コースの科目(コース開設専門科目を他コース履修した場合)6単位までを選択科目の単位に含めることができる。
- ・修士論文を提出し、論文審査に合格すること。

【令和8年度】

(環境・生命工学専攻 バイオテクノロジーコース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			基幹教員等の配置						基幹教員以外の教員(助手を除く)	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	学術英語特論	1-2		2				1					
	数学特論A	1-2		2			1						
	数学特論B	1-2		2		1							
	数学特論C	1-2		2			1						
	物理学特論	1-2		2		1							
	化学特論	1-2		2			1						
小計(6科目)		—	0	12	0	2	4	0	0	0	0	0	
研究科専攻共通科目	データ解析特論	1-2		2		1							
	知財特論	1-2		2								1	
	プレゼンテーション演習	1-2		2			1						
	グローバル・イノベーション	1-2		2		1							
	特別研究Ⅰ	1	2			25	24	3					
	特別研究Ⅱ	2	8			25	24	3					
小計(6科目)		—	10	8	0	53	48	6	0	0	0	1	
複数コース開設横断科目	建築生産特論	1-2		2			1						
	建築マネジメント演習	1-2		2			1						
	システムデザイン特論	1-2		2		1							
	感性と情動の人間構造学特論	1-2		2		1							
	神経科学特論	1-2		2			1						
	小計(6科目)		—	0	10	0	2	3	0	0	0	0	0
専門科目	分子生物学特論	1-2		2				1					
	組織工学特論	1-2		2				1					
	微生物学特論	1-2		2			1						
	植物生理学特論	1-2		2			1						
	生体分析化学特論	1-2		2		1							
	ゲノム生物学特論	1-2		2		1							
	植物代謝工学特論	1-2		2		1							
	応用微生物学特論	1-2		2		1							
	食品工学特論	1-2		2		1							
	食品生理機能学特論	1-2		2		1							
	生物工学特論Ⅰ	1-2	2									9	
	生物工学特論Ⅱ	1-2	2									8	
	生物工学特別演習Ⅰ	1	1			7	3						
	生物工学特別演習Ⅱ	2	1			7	3						
	小計(9科目)		—	0	26	0	21	9	6	0	0	0	17
合計(27科目)		—	10	56	0	78	64	6	0	0	0	18	

卒業要件及び履修方法

- ・必修科目10単位及び選択科目20単位以上(バイオテクノロジーコースにあっては、**生物工学特論Ⅰ、Ⅱ、生物工学特別演習Ⅰ及びⅡを含む選択科目20単位以上**)の合計30単位以上を修得すること。
- ・この場合において、工学研究科長が認める他コースの科目(コース開設専門科目を他コース履修した場合)6単位までを選択科目の単位に含めることができる。
- ・修士論文を提出し、論文審査に合格すること。

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
- ・「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
- ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼担教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
- ・なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合)」「専任教員」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合)」「専任教員以外の教員(助手を除く)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を**太字の赤字**としてください。(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・不要な年度(令和7年度開設であれば令和6年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新旧カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和8年度(新)】→【令和7年度(新)】→【令和6年度】→【令和5年度】→【令和8年度(旧)】→【令和7年度(旧)】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和8年度】**

- ・授業科目の名称変更 「感性と情動の人間構造学特論」⇒「人間機能構造学特論」
- ・授業科目の名称変更 「リモートセンシング特論」⇒「コンピュータビジョン論」
- ・専任教員及び非常勤講師の職位等変更による配置数変更
- 【該当科目】学術英語特論、プレゼンテーション演習、特別研究Ⅰ、特別研究Ⅱ、クラフトデザイン特論、プロダクトデザイン演習、計算量理論特論、分子生物学特論、微生物学特論、生物学特別演習Ⅰ、生物学特別演習Ⅱ
- ・生物学特論Ⅰ、生物学特論Ⅱ、生物学特別演習Ⅰ、生物学特別演習Ⅱについては、届出時は必修科目として提出していたが、カリキュラム上は選択科目（バイオテクノロジーコースの選択必修）のため、選択科目に単位数を変更
- ・卒業要件及び履修方法については、当初、コースごとに履修規程別表を設ける予定であったが、一専攻化の主旨に沿って履修規程別表を一表にまとめたため、すべて自専攻の科目として履修が可能となったことから他コース履修の説明を削除

- (注)・ 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。  
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（令和7年度開設であれば令和6年度以前）の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
6 科目	80 科目	0 科目	86 科目	2 科目 [ △ 4 ]	83 科目 [ 3 ]	科目 [ ]	85 科目 [ △ 1 ]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	情報メディア表現特論	2	2	専門	選択	担当予定教員の退職 代替措置無し
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「情報メディア表現特論」は、担当予定であった教員が退職したことに伴い、教育課程全体との整合性を踏まえた上で、当該科目を廃止した。なお、教育課程上必要な教育内容については、関連科目により補完可能であり、学生の履修及び教育の質に支障は生じない。前橋工科大学大学院履修規程に開講科目として規定されていないことを、学生便覧等を通じて学生へ周知する。

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{86} = \boxed{1.16} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	44783.78 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	44783.78 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	28389.61 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	28389.61 m <sup>2</sup>				
	合 計	73173.39 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	73173.39 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	23335.84 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	23335.84 m <sup>2</sup>				
	( 23335.84 m <sup>2</sup> )	( )	( )	( )	( 23335.84 m <sup>2</sup> )				
(3) 講義室等・新設研究科等の専任教員研究室	講義室		実験・実習室	演習室	新設研究科等の専任教員研究室				
	23室		67室	11室	67室				
(4) 図書・設備	新設研究科等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具	標本		
		[うち外国書]	電子図書	[うち外国書]	電子ジャーナル				
		冊	[うち外国書]	種	[うち外国書]	点	点		
	工学研究科	80000 [7800] (75554 [5137])	325 [0] (239 [0])	770 [242] (749 [239])	23 [18] (94 [86])	2,333 ( 2,479 )	— (—)		
計	80000 [7800] (75554 [5137])	325 [0] (239 [0])	770 [242] (749 [239])	23 [18] (94 [86])	2,333 ( 2,479 )	— (—)			
(5) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	研究科単位での算出不能なため、学部との合計
		教員1人当り研究費等	教授600千円 准教授・講師500千円 助教400千円	教授600千円 准教授・講師500千円 助教400千円	図書購入費	15,000千円	15,000千円	15,000千円	
	共同研究費等	25,000千円	25,000千円	設備購入費	80,000千円	80,000千円	80,000千円	図書購入費は電子ジャーナルを含む。共同研究費等は大学全体	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	※上段は市内居住者、 下段は市外居住者	
		676.8千円	676.8千円						
	817.8千円	817.8千円							
学生納付金以外の維持方法の概要		前橋市からの運営費交付金等							

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の2)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(8)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・国立大学については「(5)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	前橋工科大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
工学部														
建築・都市・環境工学群	4	132	3年次 <sub>3</sub>	534	学士(工学)	1.11	1.07	-	令和4	群馬県前橋市上毛町4-6-0番地1				
情報・生命工学群	4	132	3年次 <sub>3</sub>	534	学士(工学)	1.14	1.08	-	令和4	同上				
大学全体	-	264	3年次 <sub>6</sub>	1068	-	-	-	-	-	-				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。  
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和9年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。  
 ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。  
 ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。  
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。  
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<工学研究科 環境・生命工学専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	土倉 泰 <令和8年4月> 工学博士 材料力学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	田中 恒夫 <令和8年4月> 博士(工学) 水環境工学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	森田 哲夫 <令和8年4月> 博士(工学) 都市計画特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	佐川 孝広 <令和8年4月> 博士(工学) セメント化学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	石川 恒夫 <令和8年4月> 工学博士 建築意匠特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	北野 敦則 <令和8年4月> 博士(工学) 建築鉄筋コンクリート構造設計演習 建築合成構造特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	駒田 剛司 <令和8年4月> 学士(工学) パブリックアーキテクチャー特論 建築設計演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	麻里 哲広 <令和8年4月> 博士(工学) 建築構造解析演習 荷重・安全論演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	三田村 輝章 <令和8年4月> 博士(工学) 建築熱・空気環境計画特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	福地 佐斗志 <令和8年4月> 博士(理学) プロテオミクス特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	三河 賢治 <令和8年4月> 博士(工学) アルゴリズム特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	藤田 由布子 <令和8年4月> 博士(応用物理) バイオフィオマティクス特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	野村 保友 <令和8年4月> 理学博士 光診断学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ

【令和8年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	土倉 泰 <令和8年4月> 工学博士 材料力学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	田中 恒夫 <令和8年4月> 博士(工学) 水環境工学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	森田 哲夫 <令和8年4月> 博士(工学) 都市計画特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	佐川 孝広 <令和8年4月> 博士(工学) セメント化学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	石川 恒夫 <令和8年4月> 工学博士 建築意匠特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	北野 敦則 <令和8年4月> 博士(工学) 建築鉄筋コンクリート構造設計演習 建築合成構造特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	駒田 剛司 <令和8年4月> 学士(工学) パブリックアーキテクチャー特論 建築設計演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	麻里 哲広 <令和8年4月> 博士(工学) 建築構造解析演習 荷重・安全論演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	三田村 輝章 <令和8年4月> 博士(工学) 建築熱・空気環境計画特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	福地 佐斗志 <令和8年4月> 博士(理学) プロテオミクス特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	三河 賢治 <令和8年4月> 博士(工学) アルゴリズム特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	藤田 由布子 <令和8年4月> 博士(応用物理) バイオフィオマティクス特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	野村 保友 <令和8年4月> 理学博士 光診断学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松本 浩樹 <令和8年4月> 博士(工学)
		生体信号処理特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	王 鋒 <令和8年4月> 博士(情報科学)
		生体計測工学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	首藤 文洋 <令和8年4月> 博士(医学)
		感性と情動の人間構造学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	江本 関夫 <令和8年4月> 学士(工学)
		システムデザイン特論 プロダクトデザイン特論 プロダクトデザイン演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	本多 一郎 <令和8年4月> 博士(農学)
		植物代謝工学特論 食品生理機能学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 生物工学特別演習Ⅰ 生物工学特別演習Ⅱ
専	教授	本間 知夫 <令和8年4月> 博士(医学)
		食品工学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 生物工学特別演習Ⅰ 生物工学特別演習Ⅱ
専	教授	菅原 一靖 <令和8年4月> 博士(理学)
		データ解析特論 生体分析化学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 生物工学特別演習Ⅰ 生物工学特別演習Ⅱ
専	教授	山下 聡 <令和8年4月> 博士(工学)
		ゲノム生物学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 生物工学特別演習Ⅰ 生物工学特別演習Ⅱ
専	教授	浅川 嗣彦 <令和8年4月> 博士(理学)
		物理学特論
専	教授	伊藤 公智 <令和8年4月> 博士(理学)
		数学特論B
その他	教授	羽鳥 亘 <令和8年4月> 弁理士
		知財特論
その他	教授	坊垣 和明 <令和8年4月> 工学博士
		環境建築学特論
その他	教授	浜名 康栄 <令和8年4月> 理学博士
		生物工学特論Ⅰ

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松本 浩樹 <令和8年4月> 博士(工学)
		生体信号処理特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	王 鋒 <令和8年4月> 博士(情報科学)
		生体計測工学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	首藤 文洋 <令和8年4月> 博士(医学)
		感性と情動の人間構造学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	江本 関夫 <令和8年4月> 学士(工学)
		システムデザイン特論 プロダクトデザイン特論 プロダクトデザイン演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	本多 一郎 <令和8年4月> 博士(農学)
		植物代謝工学特論 食品生理機能学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 生物工学特別演習Ⅰ 生物工学特別演習Ⅱ
専	教授	本間 知夫 <令和8年4月> 博士(医学)
		食品工学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 生物工学特別演習Ⅰ 生物工学特別演習Ⅱ
専	教授	菅原 一靖 <令和8年4月> 博士(理学)
		データ解析特論 生体分析化学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 生物工学特別演習Ⅰ 生物工学特別演習Ⅱ
専	教授	山下 聡 <令和8年4月> 博士(工学)
		ゲノム生物学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 生物工学特別演習Ⅰ 生物工学特別演習Ⅱ
専	教授	浅川 嗣彦 <令和8年4月> 博士(理学)
		物理学特論
専	教授	伊藤 公智 <令和8年4月> 博士(理学)
		数学特論B
その他	教授	羽鳥 亘 <令和8年4月> 弁理士
		知財特論
その他	教授	坊垣 和明 <令和8年4月> 工学博士
		環境建築学特論
その他	教授	浜名 康栄 <令和8年4月> 理学博士
		生物工学特論Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	安岡 顕人 <令和8年4月> 博士(理学)
		生物学特論Ⅰ
その他	教授	鈴木 義人 <令和8年4月> 農学博士
		生物学特論Ⅰ
その他	教授	原 太一 <令和8年4月> 博士(医学)
		生物学特論Ⅰ
その他	教授	藤井 智幸 <令和8年4月> 博士(農学)
		生物学特論Ⅱ
その他	教授	林 義明 <令和8年4月> 農学士
		生物学特論Ⅱ
その他	教授	嶋海 一成 <令和8年4月> 博士(農学)
		生物学特論Ⅱ
その他	教授	中山 真義 <令和8年4月> 農学博士
		生物学特論Ⅱ
その他	教授	井上 亮 <令和8年4月> 博士(農学)
		生物学特論Ⅱ
その他	教授	北本 宏子 <令和8年4月> 博士(農学)
		生物学特論Ⅱ
その他	教授	倉光 英樹 <令和8年4月> 博士(地球環境科学)
		生物学特論Ⅱ
専任	准教授	梅津 剛 <令和8年4月> 工学博士
		建設情報処理特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専任	准教授	舌間 孝一郎 <令和8年4月> 博士(工学)
		コンクリート工学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専任	准教授	平川 隆一 <令和8年4月> 博士(工学)
		河川環境工学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専任	准教授	森 友宏 <令和8年4月> 博士(工学)
		防災地盤工学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	安岡 顕人 <令和8年4月> 博士(理学)
		生物学特論Ⅰ
その他	教授	鈴木 義人 <令和8年4月> 農学博士
		生物学特論Ⅰ
その他	教授	原 太一 <令和8年4月> 博士(医学)
		生物学特論Ⅰ
その他	教授	藤井 智幸 <令和8年4月> 博士(農学)
		生物学特論Ⅱ
その他	教授	林 義明 <令和8年4月> 農学士
		生物学特論Ⅱ
その他	教授	嶋海 一成 <令和8年4月> 博士(農学)
		生物学特論Ⅱ
その他	教授	中山 真義 <令和8年4月> 農学博士
		生物学特論Ⅱ
その他	教授	真嶋 隆一 <令和8年4月> 博士(工学)
		生物学特論Ⅱ
その他	講師	正木 聡 <令和8年4月> 博士(医学)
		生物学特論Ⅱ
その他	教授	倉光 英樹 <令和8年4月> 博士(地球環境科学)
		生物学特論Ⅱ
専任	准教授	梅津 剛 <令和8年4月> 工学博士
		建設情報処理特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専任	准教授	舌間 孝一郎 <令和8年4月> 博士(工学)
		コンクリート工学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専任	准教授	平川 隆一 <令和8年4月> 博士(工学)
		河川環境工学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専任	准教授	森 友宏 <令和8年4月> 博士(工学)
		防災地盤工学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	宮川 睦巳 <令和8年4月> 博士(工学)
		細構造学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	石黒 由紀 <令和8年4月> 学士(家政学)
		パブリックアーキテクチャー特論 パブリックアーキテクチャー設計演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	堤 洋樹 <令和8年4月> 博士(工学)
		建築生産特論 建築マネジメント演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	辛島 一樹 <令和8年4月> 博士(工学)
		地域環境計画特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	杉浦 榮 <令和8年4月> Master in Urban Planning (米国) Master in Landscape Architecture (米国)
		都市・環境デザイン演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	臼井 敬太郎 <令和8年4月> 博士(デザイン学)
		建築史特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	佐藤 良介 <令和8年4月> 博士(工学)
		建築耐震工学演習 建築地震工学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	米村 美紀 <令和8年4月> 博士(工学)
		建築音環境工学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	伊佐 浩史 <令和8年4月> 博士(理学)
		情報通信システム特論 情報メディアデザイン演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	関口 達也 <令和8年4月> 博士(システム生命科学)
		システム生物学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	遠山 宏明 <令和8年4月> 博士(工学)
		計算量理論特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	優 乙石 <令和8年4月> 博士(工学)
		最適化特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	富澤 真樹 <令和8年4月> 博士(工学)
		コンピュータアーキテクチャ特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	石川 保幸 <令和8年4月> 博士(理学)
		神経科学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	宮川 睦巳 <令和8年4月> 博士(工学)
		細構造学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	石黒 由紀 <令和8年4月> 学士(家政学)
		パブリックアーキテクチャー特論 パブリックアーキテクチャー設計演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	堤 洋樹 <令和8年4月> 博士(工学)
		建築生産特論 建築マネジメント演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	辛島 一樹 <令和8年4月> 博士(工学)
		地域環境計画特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	杉浦 榮 <令和8年4月> Master in Urban Planning (米国) Master in Landscape Architecture (米国)
		都市・環境デザイン演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	臼井 敬太郎 <令和8年4月> 博士(デザイン学)
		建築史特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	佐藤 良介 <令和8年4月> 博士(工学)
		建築耐震工学演習 建築地震工学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	米村 美紀 <令和8年4月> 博士(工学)
		建築音環境工学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	伊佐 浩史 <令和8年4月> 博士(理学)
		情報通信システム特論 情報メディアデザイン演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	関口 達也 <令和8年4月> 博士(システム生命科学)
		システム生物学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	遠山 宏明 <令和8年4月> 博士(工学)
		計算量理論特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	優 乙石 <令和8年4月> 博士(工学)
		最適化特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	富澤 真樹 <令和8年4月> 博士(工学)
		コンピュータアーキテクチャ特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	石川 保幸 <令和8年4月> 博士(理学)
		神経科学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	荒井 武彦 <令和8年4月> 博士(理学)
		リモートセンシング特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	安藤 規泰 <令和8年4月> 博士(理学)
		生体制御システム特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	小田垣 雅人 <令和8年4月> 博士(工学)
		脳情報処理学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	田所 淳 <令和8年4月> 修士(政策・メディア)
		情報メディア表現特論 情報メディアデザイン演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	林 秀謙 <令和8年4月> 博士(学術)
		微生物学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ
専	准教授	星 淡子 <令和8年4月> 博士(理学)
		糖鎖工学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ
専	准教授	中山 明 <令和8年4月> 博士(農学)
		植物生理学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ
専	准教授	片山 将一 <令和8年4月> 博士(農学)
専	准教授	中島 徹 <令和8年4月> 博士(理学)
		化学特論
専	准教授	溝口 愛 <令和8年4月> Ph.D. in Speech-Language-Hearing Sciences (米国)
		プレゼンテーション演習
専	准教授	新園 裕昭 <令和8年4月> 博士(理学)
		数学特論C
専	准教授	矢口 義朗 <令和8年4月> 博士(理学)
		数学特論A
その他	准教授	松村 奨士 <令和8年4月> 博士(薬学)
		生物学特論Ⅰ
その他	准教授	永井 俊匡 <令和8年4月> 博士(農学)
		生物学特論Ⅰ

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	荒井 武彦 <令和8年4月> 博士(理学)
		リモートセンシング特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	安藤 規泰 <令和8年4月> 博士(理学)
		生体制御システム特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	小田垣 雅人 <令和8年4月> 博士(工学)
		脳情報処理学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	林 秀謙 <令和8年4月> 博士(学術)
		微生物学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ
専	准教授	星 淡子 <令和8年4月> 博士(理学)
		糖鎖工学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ
専	准教授	中山 明 <令和8年4月> 博士(農学)
		植物生理学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ
専	准教授	片山 将一 <令和8年4月> 博士(農学)
		分子生物学特論 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ
専	准教授	中島 徹 <令和8年4月> 博士(理学)
		化学特論
専	准教授	溝口 愛 <令和8年4月> Ph.D. in Speech-Language-Hearing Sciences (米国)
		プレゼンテーション演習
専	准教授	新園 裕昭 <令和8年4月> 博士(理学)
		数学特論C
専	准教授	矢口 義朗 <令和8年4月> 博士(理学)
		数学特論A
その他	准教授	松村 奨士 <令和8年4月> 博士(薬学)
		生物学特論Ⅰ
その他	准教授	永井 俊匡 <令和8年4月> 博士(農学)
		生物学特論Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	松本 匡史 <令和8年4月> 構造一級建築士
		建築構造特論
専	講師	福見 成能 <令和8年4月> 修士(デザイン学)
		都市デザイン特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	講師	山中 憲行 <令和8年4月> 博士(工学)
		労働安全衛生特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	講師	赤間 章英 <令和8年4月> 博士(学術)
		デザイン心理学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	講師	藤田 佳祐 <令和8年4月> 博士(工学)
		電磁波工学特論
専	講師	中島 修 <令和8年4月> 修士(知識科学)
		クラフトデザイン特論 プロダクトデザイン演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	講師	河内 健志 <令和8年4月> 修士(教育学)
		学術英語特論
その他	講師	島 海介 <令和8年4月> 一級管工事施工管理技師
		建築設備設計演習
その他	講師	小林 海渡 <令和8年4月> 博士(理学)
		生物工学特論Ⅱ
その他	講師	中澤 暦 <令和8年4月> 博士(環境科学)
		生物工学特論Ⅰ
専	助教	安保 勲人 <令和8年4月> 博士(工学)
		データサイエンス特論
専	助教	測野 敬 <令和8年4月> 博士(理学)
		ネットワークセキュリティ特論
専	助教	李 沛謙 <令和8年4月> 博士(工学)
		ロボティクス特論
専	助教	阿部 由布子 <令和8年4月> 修士(教育学)

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	松本 匡史 <令和8年4月> 構造一級建築士
		建築構造特論
専	講師	福見 成能 <令和8年4月> 修士(デザイン学)
		都市デザイン特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	講師	山中 憲行 <令和8年4月> 博士(工学)
		労働安全衛生特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	講師	赤間 章英 <令和8年4月> 博士(学術)
		デザイン心理学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	講師	藤田 佳祐 <令和8年4月> 博士(工学)
		電磁波工学特論
専	准教授	中島 修 <令和8年4月> 修士(知識科学)
		クラフトデザイン特論 プロダクトデザイン演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	河内 健志 <令和8年4月> 修士(教育学)
		学術英語特論
その他	講師	島 海介 <令和8年4月> 一級管工事施工管理技師
		建築設備設計演習
その他	講師	小林 海渡 <令和8年4月> 博士(理学)
		生物工学特論Ⅱ
その他	講師	中澤 暦 <令和8年4月> 博士(環境科学)
		生物工学特論Ⅰ
専	助教	安保 勲人 <令和8年4月> 博士(工学)
		データサイエンス特論
専	助教	測野 敬 <令和8年4月> 博士(理学)
		ネットワークセキュリティ特論
専	助教	李 沛謙 <令和8年4月> 博士(工学)
		ロボティクス特論
専	助教	阿部 由布子 <令和8年4月> 修士(教育学)



(1) ②担当教員表に関する変更内容

**【令和8年度】**

- ・令和8年4月に職位変更（遠山教授、石川（保）教授、林教授、溝口教授、河内准教授、中島（修）准教授）
- ・専任教員として、令和8年4月就任（中島（陽）教授、桑波田准教授、蜂須賀准教授、杉山准教授、杉田講師、田中（勇）助教）
- ・非常勤講師として、令和8年4月就任（真嶋教授、正木講師、薩教授）
- ・令和7年度末に退職（【専任教員】田所准教授、【非常勤講師】井上教授、北本教授）

(注) 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。

**原則としてA C教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。**

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります。）

- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度（令和7年度開設であれば令和6年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注)・大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
23	30	6	4	63	0	28	30	5	5	68	0
(23)	(30)	(6)	(4)	(63)	0						
研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
49	21	8	4			55	28	5	5		
(55)	(28)	(5)	(5)								
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
28	30	5	5	68	0	28	30	5	5	68	0
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
41	23	7	5			41	23	7	5		
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]			[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]		

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)  
 ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B)の教員のうち、定年を延長して採用している教員数)	完成年度時(上記(C)の教員のうち、定年を延長して採用する教員数)
65	0	0
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{68}{63} = \boxed{107.93} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{68} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	田所 淳	R8.3	選択	情報メディア表現特論	③	R8.3担当予定教員退職のため就任辞退			
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。  
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」              |
| ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」          |

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。  
 （学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）  
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」              |
| ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」          |

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{63} = 1.58 \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和7年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

- 人

- (注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。  
 ・令和8年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当を予定していた選択科目は、教育課程全体との整合性を踏まえた上で、当該科目を廃止したため、学生の履修等に影響はない。なお、設置前に退職したため、学生へ周知はしていない。

- (注)・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和7年)	該当なし		

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

**【令和7年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和7年度報告書の記載内容を転記し文末に「（7）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（8）」と記載してください。

**【令和7年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和7年度報告書の記載内容を転記し文末に「（7）（8）」と記載してください。

**【令和8年度から新たに調査対象となった学科等又は令和7年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（8）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<工学研究科 環境・生命工学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注)・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>前橋工科大学評価・改善委員会 前橋工科大学ファカルティ・ディベロップメント委員会</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>評価・改善委員会: 毎月開催。委員14名、毎回ほぼ全員が参加。 ファカルティ・ディベロップメント委員会: 年2回開催予定。委員11名、毎回ほぼ全員が参加。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>・評価・改善委員会</p> <p>(1) 中期計画の達成度に係る評価に関すること。 (2) 教育研究活動等の質保証についての評価及び改善に関すること。 (3) 教育研究活動等の活性化についての評価及び改善に関すること。 (4) 社会に対する教育研究活動等の状況の説明についての評価及び改善に関すること。 (5) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第109条第2項に規定する認証評価に関すること。</p> <p>・ファカルティ・ディベロップメント委員会</p> <p>(1) 教員の授業の内容及び方法の改善並びに向上のための組織的な取組の実施に関すること。 (2) 効果的な授業方法についての研修会の実施に関すること。 (3) 新任教員のための支援体制の形成に関すること。 (4) その他本学の授業の改善及び本学構成員の専門的活動能力の開発向上に関すること。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>・FD研修会の開催、フォーラム等への参加 ・教員相互の授業参観(学部) ・学生授業アンケート</p> <p>b 実施方法</p> <p>・全教員を対象とした研修会の開催 ・他大学・機関等におけるフォーラム等への参加 ・学生授業アンケートへの教員コメントの提出 ・FD活動報告書の作成</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>本専攻は本年4月設置のため未実施</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>実施結果を踏まえ、事業内容等の改善・向上に取り組む</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>実施予定あり</p> <p>前期・後期ともに、5回目又は6回目、14回目から期末試験最終日までを授業実施期間とする。 なお、中期においては当該学期の授業改善に反映すること、期末においては翌年度の授業全体を通じた改善を行うことを目的として、授業に対する改善点を集約し、直接反映させることを目的として、授業期間内に2度実施する。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>調査結果については、その要約版を全教員及び学生に対し共有する。</p>
--

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
設置の趣旨・目的に基づく教育研究が実施できる当面の体制を整えることができたものと評価している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期  
・令和8年6月頃 公表

b 公表方法  
・大学ホームページ上に公開予定（令和8年6月頃を予定）

③ 認証評価を受ける計画  
令和4年度に受審（一般財団法人大学教育質保証・評価センター）したことから、次回は令和11年度に大学機関別認証評価受審を予定している。

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和8年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・ 無 ]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期  調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法  ウェブサイトへの掲載 その他 ( ) ]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。